

<総合人間学部生活心理学科>

生活心理学科は、建学の理念である「愛と奉仕」の精神を基盤とし、人のこころと行動を探究する心理学を、人が生活をおくる社会システムや生活環境に関する科目とともに学修し、人間および社会生活を深く理解し、共生社会の構築に貢献できる人材を育成することを目標とし、そのカリキュラムは、専門教育科目の「生活心理学科目群」の必修科目では、社会生活をおくる中でこころが関与する課題を発見し、探究するための思考力や判断力を身につけ、その成果を文章や口頭で伝える表現力を培う。この共通基盤の上に、「心理社会科目群」「子ども支援科目群」の履修によって専門性を高め、社会生活における諸問題を、心理学、社会システム、生活環境の観点から、より良い社会生活を提案できる能力を備えた教養人の育成を目指す。

公民教職課程においては、社会制度や社会問題に対する見識はもちろん、人間性を深く理解し、人間と社会との関わりをより一層踏み込んで生徒に語るができる教員育成を目指す。また、カリキュラム上のビジネス・情報科目を合わせて履修することにより、生徒のキャリア形成の指導や生徒の自己決定を支援することを可能にし、さらには、学校内のコミュニティを活性化させることはもちろん、ボランティアをはじめとした地域の諸活動に生徒を参加させる意欲と能力、そして生徒からの種々の相談に対応し、適切に方向付けていく能力と教育的愛情をもつ教員の養成を目指す。